

①

なんこくファミリーサポートセンターからのお知らせ

あなたも地域の子育てサポートに参加してみませんか？

ファミリー・サポート・センターは、子育て中の家庭を支援するため、「手助けをしてほしい方」(依頼会員)と「お手伝いできる方」(提供会員)が子育ての助け合いをする会員制の有償ボランティア組織です。主な活動は、お子さんのお預かりと送迎です。

安心・安全にお子さんをお預かりする為に必要な15時間の講習を実施します。提供会員として活動を希望する方、こどもが好きな方、子育て支援に関心がある方の受講をお待ちしています。

※南国市在住の方が近隣の市で実施される講習会を受講することもできます
(登録は南国市となります)。ご希望の方はお問い合わせください。

■日時／11月12日(木)、13日(金)、14日(土) ■申込締切／11月5日(木)
※午前、午後3日間の講習です。(14日は午前中のみ)

■場所／南国市役所(14日は南国消防署)

■参加費／無料 ■無料託児あり(要予約・先着2名まで)

■申し込み・お問い合わせ／なんこくファミリーサポートセンター(南国市立西部児童館2階)
9時～17時 日・月・祝 休み(月曜日が祝日の場合は翌火曜日も休み) ☎802-5665



▲詳しくはこちら

①

11/1～12/1は犯罪被害者月間です。
一人で悩まず、まずはご相談ください！

あなたやあなたの大切な人も含め、誰もが突然、犯罪に巻き込まれる可能性があります。犯罪被害者の方が置かれている状況について理解を深め、平穏な生活を取り戻せるよう、みんなで支え合う社会を実現していきましょう。

皆さんの理解が、犯罪被害者の方の支えとなります。

	機関名	相談内容	相談時間	連絡先
犯罪被害全般	(警察)警察総合相談電話	警察への相談全般	24時間対応	088-823-9110 #9110
	(警察)犯罪被害者ホットライン	犯罪被害相談全般		088-871-3110
	(高知県)犯罪被害者等支援相談窓口	犯罪被害全般 支援機関の調整	9:00～12:00、13:00～16:00 (平日のみ)	088-823-9340 面接相談は要予約
性犯罪被害	こうち被害者支援センター	犯罪被害者支援のための相談・付添い支援	10:00～16:00 (平日のみ)	088-854-7867 面接相談は要予約
	(警察)性犯罪被害相談電話	性犯罪被害に関する相談	24時間対応	#8103(ハートさん) (全国共通ダイヤル)
性暴力被害	性暴力被害者サポートセンターこうち	性犯罪・性暴力被害に関する相談	9:00～17:00 (月～土) ※上記以外の時間は夜間休日コールセンターにつながります。	0120-835-350 #8891(通話料無料)

■問い合わせ／総務課じんけん係 ☎088-880-6583

①

後期高齢者健康診査情報提供(みなし健診)事業とは

「みなし健診」とは、通院している医療機関から健康診査に該当する検査値等を保険者(高知県後期高齢者医療広域連合)に情報提供をしてもらうことで、「健康診査を受診した」とみなす仕組みです。

■対象／本年度、後期高齢者健康診査を受診されていない方で、通院している医療機関に該当する検査値等がある方に個別に通知します。

■情報提供可能な医療機関が対応できる期間／個別通知後～令和9年3月31日

■お手元に個別通知が届きましたら、封筒内の「令和8年度健康診査情報提供書」の【患者様記入欄】【問診等】に記入して、封筒内のお手紙と一緒に、「情報提供可能な医療機関」に受診される際にお持ちください。

■お問い合わせ／高知県後期高齢者医療広域連合 事業課保健適正化担当 ☎088-821-4677

①

2026年度全国統一防火標語

火の確認 いい日を支える いい習慣

11/9(月)～15(日) 秋季全国火災予防運動

近年の建物火災による死者の約9割は住宅火災によるものです。また高齢者の火災における死者数は若年層に比べて格段に多く、逃げ遅れによることが原因です。

高齢者の逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置するなど、一人一人が細心の注意を払い、住宅火災の発生を防止しましょう。

正午の南国市防災行政無線で、幼年消防クラブ員による防火広報を行う予定です。

住宅用火災警報器の設置は出来ていますか？

住宅用火災警報器は、火災により発生する熱や煙を感知して、音や音声により火災の発生を知らせてくれる機器です。まだ設置していないご家庭は、早急に設置するようにしましょう。既に設置しているご家庭は、定期点検をお願いします。

11/12(木) 10:00～ 幼年消防クラブ防火演奏

マルナカ南国店駐車場で、認定こども園ひまわり・認定こども園あとも幼年消防クラブが、防火演奏を行います。
※雨天中止



住宅防火 10のポイント

4つの習慣

6つの対策

ハートちゃん

Bayasaa Tumenjargal
(バヤサー トゥメンジャラガル)
連合農学研究科
(博士課程)1年

こんにちは、バヤサー トゥメンジャラガルです。モンゴルのウランバートルから来ました。高知大学で木材加工や森林資源などについて研究しています。モンゴルの森林面積は国土の約8%であるのに対し、高知県の森林面積は84%と非常に広く、森林関係の研究をするにはとても魅力的な場所です。

高知へ来て一番驚いたことは海です。モンゴルには海がないので間近で雄大な海を見た時にはとても感動しました。今も時々海を見に行きます。次に驚いたのは森林です。モンゴルでは年間降雨量が250mm程度しかなく木があまり育ちませんが、高知では2000mmから3000mmあり、少し行くと森の中に入って行けます。緑に囲まれた木々の間を歩くとリフレッシュできます。食べ物や生活様式の違いについても驚かされます。モンゴルでは魚、特に生魚を食べる機会はありません。よく食べるのは牛肉と麺が入ったスープです。飲み物は基本的に温かいので、日本で氷入りの水が出された時にはとてもびっくりしました。また日本人は防災に対する意識が高く、地震や津波に対する注意喚起、防災訓練等が行われていて、勉強になります。日本で暮らしてみても日本人は責任感が強いと思います。

私は結婚して3人の子どもを育てながら研究を続けてきました。一番上の子どもは現在大学生で親元を離れていますが、夫と2人の子どもは高知で一緒に暮らしています。これまで子育てと研究の両立は大変でしたが、家族だけでなく多くの人々に支えられてきました。ここ南国市でも大学の先生やスタッフ、学生、地域の方々に温かく迎えていただき、社会がワンチームになって支えてくれているように感じます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

いつかモンゴルで、あまり知られていない四国のことを情報発信する「四国センター」を設立し、モンゴルと四国の(森林研究だけに)「木の」架け橋になることを夢見ています！



309